

初台リハビリテーション病院

### 4年ぶりに火災避難訓練を実施しました

集合しての避難訓練は4年ぶりで、日中に病棟内パントリーでの火災発生を想定し基本動作の確認を目的として実施しました。実際に非常放送を流し、火元の確認、火災報知器の発報、初期消火から始まり、病棟責任者による指示系統の確認、車いすやシートを用いた避難誘導の実施、災害対策本部の立ち上げ、情報の集約を行いました。訓練終了後は振り返りを行い疑問点や課題を共有できました。今後も防災意識を高め有事に備えられるよう活動を継続していきます。



船橋市立リハビリテーション病院

### 送迎車が新しくなりました!

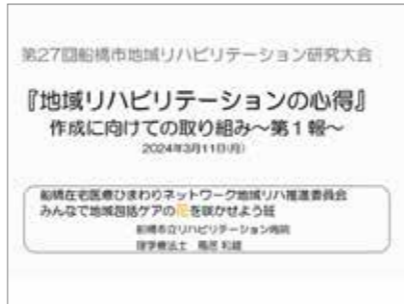
通所リハビリの利用者さんを送迎する車が新しくなりました。停車時には車体の高さが低くなるので安全に乗降しやすくなりました。実際に乗車された利用者さんからも、「乗り降りがしやすくなった」「座り心地が良い」など大変好評です。安全装備も最新になり、今まで以上に安全に利用者さんを送迎できます。ぜひ、船橋市立リハビリテーション病院の通所リハビリをご利用ください!



船橋市立リハビリセンター

### 第27回 船橋市地域リハビリテーション研究大会開催しました

2024年3月11日、当センターが事務局となり、第27回 船橋市地域リハビリテーション研究大会が「今再び、『地域リハビリテーション』を考える」というテーマで、WEB形式で行われました。輝生会からは、船橋在宅医療ひまわりネットワーク地域リハ推進委員として活動する船橋市立リハビリテーション病院の鳥居さんが「地域リハビリテーションの心得」という演題を発表しました。地域の関係職種の方々約100名にご参加いただき、大変好評でした。



在宅総合ケアセンター元浅草

### 交通安全講習会を行いました

自転車事故の増加、また悪質な交通違反があとを絶たないことから、反則金を課す『青切符』による取締りの導入を盛り込んだ道路交通法の改正案が進んでいます。当センターでは訪問用自転車を30台使用していることもあり、交通安全意識を高めるべく、蔵前警察署交通総務係の方をお招きし、自転車の交通安全講習会を実施いたしました。知らなかったでは済まされない交通ルールを今回の講習会を機に日々の業務に意識付けて、無事故無違反を目指していきたいと思ひます。



在宅総合ケアセンター成城

### 名称が「成城リハケア病院」から「成城リハビリテーション病院」へ

この度2024年4月1日より、病院の名称が変更となりました。この変更は、当院の機能をより明確にし、ご利用者さま、患者さまとのご家族、そして地域の皆さまにより良い医療サービスを提供するための取り組みの一環となります。引き続き、医療・介護の両側面から多種多様なサービスを提供し、病気や障がいをもった人が、住み慣れた家や地域で『その人らしく』生活ができるよう引き続き支援いたします。



## 新入職員の皆さまへ



理事長 水間 正澄

新入職員のみなさん、ご入職おめでとうございます。

猛威をふるった新型コロナウイルス感染も5類感染症に移行され、社会全体の活動の制限も解除され、当り前とされていた生活が徐々に取り戻されつつあります。輝生会においては、医療機関として厳しい感染対策をとり続け、質の低下を最小限に抑えつつ患者さま、利用者さまの機能回復、生活支援や社会復帰にむけた医療を提供し続けることができました。コロナ禍が始まってから入職された職員の方々は、このような状況下において教育研修面や先輩や仲間達との交流が制約される厳しい環境にありながらチームの一員として成長され輝生会を支え

る大きな力となってくれました。経験が浅い方々が力を発揮することができたのは、個々の努力と輝生会の強みである職員一人ひとりがお互いに尊重し合うフラットな関係性を基本とした強力なチーム力に支えられていたからであると思っております。

輝生会 創設者である石川誠は、職員の皆が障がい者とともに歩んで行くというマインドを基本に、ノーマライゼーションの実現を目指すという大きな目標を掲げました。そして、障がい児・者、要介護者、高齢者等が安心・安全に普通に生活できる社会を目指した地域リハビリテーション活動にも多職種が積極的に参加しております。

皆さんには、輝生会の将来を担うチームの一員として研鑽を積まれ、大きな目標に向けて歩んで行く力となっただけのことを期待しております。



船橋市立リハビリテーション病院 院長 石原 健

この度、船橋市立リハビリテーション病院の院長に就任いたしました。私は2007年に医療法人社団輝生会に入職しました。初台リハビリテーション病院での1年間の勤務を経て、2008年からは当院の開院メンバーとして3年間働きました。その後、自己研鑽のために輝生会を飛び出し大学病院やその関連病院で臨床経験を積み 2017年10月に当院へ戻り、2018年6月からは診療部長を勤めてきました。

これまで梅津博道前院長のもとで多くの仲間達と進めてきたリハビリテーション医療の質の向上と地域リハビリテーションの推進に向けた取り組みを継承し、患者さまとご家族の笑顔を引き出し、地域社会に元気と希望を届けられるよう全力を尽くして参ります。

## 新就任挨拶



船橋市リハビリセンター センター長 梅津 博道

2024年4月から船橋市リハビリセンターのセンター長に就任いたしました。

2002年に輝生会に就職してからは、病院間の異動はあるものの初台や船橋のリハビリテーション専門病院で勤務してきましたので、リハビリセンターのような入院ベッドを持たない無床診療所で仕事するのは初めての経験になります。少数組織の機動性を生かして、輝生会の特徴である良質なリハビリテーションサービスの提供やリハビリセンターの看板である地域活動におけるリーダーシップを発揮し続けて行きたいと思ひます。また2024年3月までの勤務先である船橋市立リハビリテーション病院と良好な連携を図り、市民の皆さまに、時間的にも、空間的にも切れ目のないリハビリテーションを提供して行きます。

季刊情報誌「輝NET」 編集・発行 医療法人社団 輝生会 本部/〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 5F <https://www.kiseikai-reha.com>

初台リハビリテーション病院	〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3	TEL.03-5365-8500	<a href="https://www.hatsudai-reha.or.jp">https://www.hatsudai-reha.or.jp</a>
船橋市立リハビリテーション病院	〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-26-1	TEL.047-439-1200	<a href="https://www.funabashi-reha.com">https://www.funabashi-reha.com</a>
船橋市リハビリセンター	〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-519-3	TEL.047-468-2001	<a href="https://www.funabashi-rehacen.com">https://www.funabashi-rehacen.com</a>
在宅総合ケアセンター元浅草	〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-17	TEL.03-5828-8031	<a href="https://www.motoasakusa-reha.com">https://www.motoasakusa-reha.com</a>
在宅総合ケアセンター成城	〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-8-7	TEL.03-5429-2292	<a href="https://www.seijo-reha.com">https://www.seijo-reha.com</a>

輝生会の基本理念と方針	■ 「人間の尊厳」の保持	■ 「地域リハビリテーション」の推進	■ 「情報」の開示
	■ 「主体性・自己決定権」の尊重	■ 「ノーマライゼーション」の実現	
輝生会における患者さまの権利	■ 人権を尊重される権利	■ 最善の医療を受ける権利	■ 自らの意思で選択・決定する権利
	■ 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利		■ プライバシーの保護を求める権利

# 2024 輝生会 入社式レポート



## 2024年4月1日 新入職員138名を迎えました

2020年1月に日本で初感染が確認され、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も、2023年5月8日に5類感染症に位置づけられました。2020年度から集合開催ができずにおりましたが、2024年4月1日に、東京都江戸川区にありますタワーホール船堀で、医師8名、看護師26名、ケアワーカー4名、理学療法士50名、作業療法士25名、言語聴覚士15名、ソーシャルワーカー2名、ケアマネジャー1名、栄養士4名、薬剤師1名、事務2名、計138名の新入職者を迎えました。新入職員へ、水間正澄理事長からすべての職種をリハビリテーション専門職として迎え入れることを伝える挨拶がありました。

その後、水間理事長から新入職員ひとりひとりに辞令交付があり、新入職員を代表して、初台リハビリテーション病院所属となる理学療法士より、本日から輝生会の一員になる決意と、患者さま・利用者さまの再び輝く生活に貢献することへの期待が伝わる挨拶がありました。

## 新採用者研修スタート

今年度は、4月1日入社式後から4月8日が新採用者研修です。輝生会では、4つの目的で新採用者研修を準備しています。目的は①チームアプローチとリハビリテーションマインドを体感すること、②急性期から生活期までのリハビリテーションの流れを大まかに理解すること、③自職種以外の職種に対して大まかに理解すること、④職場配置前に知っておくべきことを理解し今後の習得につなげること、です。

この研修のために、輝生会の人材育成局では、研修テキスト「輝生会のキ」を毎年編集しています。「輝生会のキ」というタイトルは、輝生会の「輝」、希望の「希」、歓喜の「喜」、基本の「基」と色々な意味を込めてつけました。第1編：法人の概要、第2編：法人のシステムを理解するための概論、第3編：法人職員として遵守すべき事項、第4編：リハビリテーションやケア場面での技術、の4編で構成されています。



## 水間正澄理事長からのメッセージ

水間理事長の講演は、これから始まる業務すべてが輝生会の理念に基づいていることを職員に示し、また、輝生会の事業の3本柱である回復期リハビリテーション、在宅総合ケア、地域包括ケアの理解を促進する内容です。

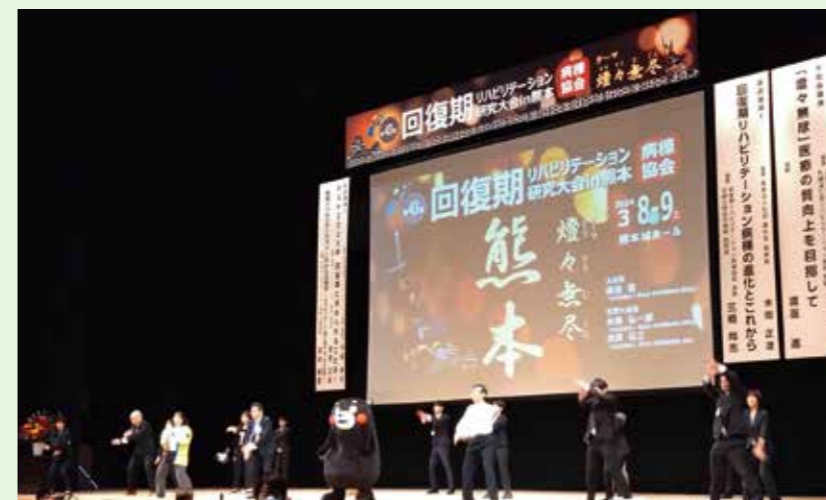


## セコム医療システム提携病院として 布施会長からのメッセージ

入社式では、毎年、セコム株式会社常務取締役・セコム医療システム株式会社取締役会長の布施達朗様から講演をいただいています。今年も、セコムグループの概要とともに、セコムの考え方と輝生会の考え方の類似、チャレンジする精神についてのお言葉をいただきました。



# 回復期リハビリテーション病棟協会 第43回 回復期リハビリテーション研究大会in熊本



2024年3月8日・9日、第43回 回復期リハビリテーション研究大会in熊本が、熊本城ホールで開催されました。

今回の開催テーマ「燈々無尽(とうとうむじん)」は、辞書によると、「一つの燈火を消すことなく次々に繋ぎ続け永遠に尽きることなく燈し続けること」とあり、「リハビリテーション医療において、先輩から受け継いだものを、その質をより高めて後輩へ渡していくことが大切」という思いが込められています。当法人からも多数のスタッフが参加し、講演・演題発表を行い、実り多き時間となりました。今回の大会で、全国の仲間と集い、それぞれに新たな情報を得ることで、回復期リハビリテーション病棟の発展に少しでも寄与できれば幸いです。

## 能登半島地震における被災地へ JRAT石川派遣活動報告



令和6年度能登半島地震における被災地の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。2024年1月1日、16時10分能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の大地震が発生しました。

当法人では発災直後に、災害支援に全面協力する方針を示しました。すぐに動けることとして、日本災害リハビリテーション協会 (JRAT) が都内に設置した中央災害対策本部に職員を派遣し、同時に現地派遣隊の準備を進めました。

当法人からは医師・看護師・セラピストのチームを編成し、第1隊は2月2日～4日に志賀町・珠洲市へ、第2隊は10日～12日に珠洲市へ、第3隊は14日～16日に輪島市の現地支援に入りました。3月も第4隊を編成し現地へ派遣しています。

奥能登は倒壊した家屋がそのままの状態、断水が続き、多くの方が避難所での生活を余儀なくされていました。そのような状況下でも、各避難所では避難者同士が結束し、困難に立ち向かう姿を目の当たりにし、人・地域との繋がりの大切さを再認識しました。

リハビリテーションを必要とする皆さまが、生活者として地域で繋がりが持てるよう共に考えていきたいと思えます。

創設者 石川誠は日頃から「困っている人がいたら助けるのが当然だよ」と口癖のように言っていました。引き続き我々に出来ることに取り組んでまいります。



輝生会本部 生活期支援局 澤湯昌樹

病院名変更について | 4月1日 「成城リハケア病院」→「成城リハビリテーション病院」に変更になりました